



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

今号の主な内容

1. 担当理事からの挨拶とお知らせ
2. 勉強会の報告
第4回糖尿病予防講演会
3. 第10回チーム医療研究会 薬剤師分科会
第10回武蔵野糖尿病研究会
療養指導士セミナー
4. 高村クリニックホームページの紹介
事務局からのお知らせ

会員数	327人
コメディカル会員	214人
医師会員	113人
管理栄養士派遣事業登録者数	28人

担当理事からの挨拶とお知らせ

これからの糖尿病治療のあり方

——チーム医療の重要性——

杏林大学医学部第三内科
石田 均

糖尿病患者数が700万人以上へと急増している現状から、次の事項が重要であると考えます。

1. すでに糖尿病を有している症例への対応
 - a 合併症の発症・進展の抑制
最近の大規模疫学研究により、単に血糖値のみならず、脂質や血圧にも十分な配慮が必要である。
 - b 緊密なチーム医療の確立
看護師は言うに及ばず、とくに管理栄養士・薬剤師の役割が重要である。この流れの中で、管理栄養士については養成カリキュラムの改定がなされ、とくに疾病の病態や治療に関する知識の理解が求められている。すなわちチーム医療が円滑になされるためには、共通の知識に基づく情報の交換が必要である。そのための症例検討会を定期的に行うことが重要である。また薬剤師の養成課程も6年制とすることが検討段階に入っており、薬学部の新設も多く予定されている。
2. 糖尿病への進展と抑制のための対策の確立
 - a 早期からの治療への介入
多くの臨床研究により、耐糖能異常あるいは早期の糖尿病の時期から適切な治療を開始すると、糖尿病そのものの発症が抑制されることが明らかとなってきた。新たな対策を確立するためにも厚生労働省の理解が求められる。
 - b 社会に対する啓発の強化
この研究会を発信源として、医師とコメディカルの協力の下、広く社会に現状と今後の対策について啓発を進めていく必要がある。

勉強会報告



＜小池先生の声に合わせて体を動かす参加者の皆さん＞

第4回糖尿病予防講演会

11月1日(土)、小金井公会堂で行われた第4回糖尿病予防講演会は、380人の参加者が集まりました。お集まりいただいた皆さんは、熱心にメモを取ったり、講師の掛け声に合わせて、体を動かしたりと、受講者の皆さんが積極的に参加する楽しい講演会となりました。質問も多く、第2部のパネルディスカッションでは、その質問全部には答えられないほどでした。

講演内容は、左記下のプログラムの通り、民間療法から運動療法まで、一般の人にわかりやすい内容でした。詳しくは、先生方のご講演内容をまとめた抄録集をご覧ください。

加ガム

第4回糖尿病予防講演会

2003年11月1日(土) 13時～16時4分
小金井公会堂

挨拶 東京都糖尿病協会

会長 本橋 義治

I. パネルディスカッション ー動脈硬化をどう予防するかー

座長 多摩老人医療センター 内分泌科 中野 忠澄
高村内科クリニック 高村 宏

1. 「使っても良い? 民間療法」 多摩みなみクリニック

院長 宮川 高一

2. 「食後過血糖を防ぐ食事」 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会

管理栄養士 高井 尚美

3. 「大血管障害薬物療法」 青梅市立病院

薬剤師 田中 三広

4. 「日常生活の中の運動療法」 多摩みなみクリニック

トレーナー 小池 日登美

II. 特別講演

座長 公立昭和病院 内分泌代謝科 貴田岡 正史

「軽症糖尿病と動脈硬化」

順天堂大学 糖尿病内分泌内科 田中 逸



＜パネルディスカッション風景＞



＜特別講演: 田中逸先生＞

★抄録集について★

事務局に、「第4回糖尿病予防講演会抄録集」が、若干ございます。ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

第10回 多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会

11月22日に国分寺Lホールにおいて、第10回多摩糖尿病チーム医療研究会薬剤師分科会が開催されました。特別講演として、多摩みなみクリニック院長の宮川高一先生に、「臨床医の立場から本音で語る薬物療法」と題してご講演を頂きました。エビデンスを踏まえた上での各種糖尿病薬剤の特徴や臨床効果などについて、また先生ご自身の臨床経験に基づく薬物療法について大変興味深いご講演を頂きました。

第10回 武蔵野糖尿病研究会



11月29日に武蔵野赤十字病院の山崎記念講堂において、第10回武蔵野糖尿病研究会が開催されました。今回は『糖尿病性腎症』のテーマのもと、一般演題では境南クリニック院長石田雄二先生より『糖尿病と腎不全患者』、東京慈恵会医科大学糖尿病代謝内分泌科蔵田英明先生からは『虚血性心疾患を合併した糖尿病性腎症の一例』、武蔵野赤十字病院内分泌代謝科谷 裕至先生からは『糖尿病性腎症の持続蛋白尿が改善された一例』と貴重な御発表を頂きました。また教育講演では東京女子医科大学血液浄化療法科教授秋葉隆先生より、『糖尿病性腎症：患者さんを腎不全にしないために』と題して御講演頂きました。

第6回 糖尿病療養担当者のためのセミナー

11月30日に帝京大学八王子キャンパスにて、「第6回糖尿病療養担当者のためのセミナー」がおこなわれました。朝からの雨にもかかわらず、140名のコメディカルの方々が参加され、特別講演として、東京医科大学八王子医療センター教授植木彬夫先生に「糖尿病治療と療養指導士とのかわり」をご講演いただきました。

その後、各施設研究発表(12施設)が行われました。午後からは、参加者が希望するパートレクチャー(6部門)及び分科会(5部門)において、積極的なディスカッション等が行われ10時から18時までの時間があっという間に過ぎ、多摩地区のコメディカルの方々の糖尿病治療への意欲の高さを痛感いたしました。

★セミナーを受講された会員の皆様へ★ スタッフの不手際により、当日回収すべき参加証を回収しませんでした。申し訳ございません。大変お手数をおかけいたしますが、認定単位数加算のために、参加証を事務局まで郵送、もしくはファクスでお送り下さいませ。よろしくお願い致します。

高村内科クリニックの了承を得てホームページを紹介します。

<http://www.bcdet.jp/takamura/main.html>

患者さんにすべて高村内科クリニックの調理実習で作ったお勧め糖尿病食メニュー集がどっさり出てくるそうです。

このホームページは、今年京都で行われた糖尿病教育資源共有機構で発表した際、同機構に糖尿病の共有資源の提供を受ける窓口があることを知り、福井大学森川助教授を通し資料提供を申し出、ホームページとして編集していただいたものです。

これから調理実習をやってみたい、患者さんに提示するメニューが欲しいという方にはお役に立つかと思います。どうぞのぞいて見てください。

ホームページをご覧になれない方のために、一つメニューをご紹介します。

主食・・・・・・胚芽精米ごはん（食物繊維）
 主菜・・・・・・ロールソテー（満足感が得られる）
 煮物・・・・・・チンゲン菜とホタテ貝柱のクリーム煮（生クリームを使わない）
 和え物・・・・・・三色おひたし（黄菊を使って）
 汁物・・・・・・けんちん汁（ボリューム感がある）
 デザート・・・・・・スイートポテト（食物繊維の多いおやつ）

事務局からのお知らせ

平成15年度第4回西東京糖尿病療養指導士認定試験のご案内

日時 平成15年2月15日（日）

申し込み方法は、事務局までお問い合わせ下さい。

★会費納入のお願い

15年度の会費を未納の方はお手数ですが3000円を下記の口座にお振込み願いますよう、よろしくお願い致します。

ご自分の会費納入状況についてお知らせになりたい方は、事務局までお問い合わせください。

銀行	銀行名	りそな銀行 小平支店
	口座名	NPO法人西東京臨床糖尿病研究会
	口座番号	普通 3933761

郵便局	郵便振替	
	口座名	NPO法人西東京臨床糖尿病研究会
	口座番号	普通 3933761

★年末年始のお知らせ

12月29日（月）1月7日（水）まで、事務局はお休みをいただきます。どうぞよろしくお願い致します。

★事務員が交代します。

「渡辺香」に代わって「三須知恵」が皆様のお手伝いをさせていただきます。よろしくお願い致します。

ホームページもご覧ください
<http://www.nishitokyo-dm.net>

NPO法人
 西東京臨床糖尿病研究会
 〒185-0012
 東京都国分寺市本町3-10-22
 オリエントプラザ402
 TEL：042 (322) 7468
 FAX：042 (322) 7478